

# 盛り上がった！辛さんのオーラと会場のエネルギー

## 「人と違っていい 選んで生きる女も男も」

第4回西東京市男女平等参画推進フォーラムが2月5日(土)と6日(日)に市民会館で開催されました。1日目は映画『クジラの島の少女』と午後は辛淑玉さんの講演会『女(ひと)と男(ひと)とのもつよい関係』。2日目は2つの分科会。午前は『メディアにみる女性像』。午後は『結婚が変わる、家族が変わる』。エガール編集委員もそれぞれ参加しました。

### 女(ひと)と男(ひと)とのもつよい関係

(株)香科舎代表 辛 淑玉

辛さんの講演はいつも菌切れがよくってすっきりする。それでいて楽しくって、感動もあつたりする。この日のテーマは「女(ひと)と男(ひと)とのもつよい関係」。日本全国津々浦々講演に回っていて、何処へ行っても女が楽しい、女が面白い、女が元気だ、女が声をあげ始めているという。結婚して10年後に夫の生きているのは？の答えの8割は妻であり、妻の生きているのは？の答えの7割は友人とともに過ごすこと、という調査結果の話に妙に納得する自分がある。どうしてこうなってしまったのかと辛さんは男の生き方を問いかける。子どもたちの間で人気のある「あいづち」という詩があるそうだ。その詩の中に共感を求める子どもたちの今を知る。子ども父に気持ちを受け止めてくれる言葉を求めている。女も男も「らしさ」から解き放たれて「私らしく」ありたい。(織田昭子)

### メディアにみる女性像

フェリス学院大学教授 諸橋 泰樹

女らしさも男らしさも、共に社会環境から大きな影響を受けていることを改めて感じた。講師自身、子ども時代に「好きな色はピンク」と

## 海からの贈物

リンドバーグ夫人著/吉田健一訳/新潮文庫/400円(税込み)

女性として、妻・母として悩み、疑問を抱く著者は、自己と向き合うため都会の日常を離れて、1人海辺ですごす。潮の満ち干き、美しい貝。永遠の海の営みに、生きることの意味を重ね合わせてつづった珠玉の一冊。



著者は大西洋単独飛行の成功者リンドバーグ大佐の妻であり、女性飛行家の草分けの1人でもある。

## 当事者主権

中西圭司・上野千鶴子著/岩波新書/735円(税込み)

「私のことは私が決める」という当事者主権。社会のルールが変われば障害が障害でなくなる。それは多様な生き方が尊重される社会。障害者運動の牽引的存在の中西氏と女性運動の理論的旗手である上野氏がその運動の歴史と実践から当事者主権社会への変革を提言する共著。



## きっと、よくなる!

本田健著/サンマーク出版/1680円(税込み)

著者自身の離婚経験、仕事への疑い、人生への不安、絶望から抜け出し辿り着いた答えは「力を抜いて自分らしく生きる」ということだった。家族や周囲と共に「豊かで幸せに」生きるにはどうしたらいいのか、著者の経験からきた励ましの一冊。



## 結婚が変わる・家族が変わる

弁護士 吉岡 睦子

結婚とは？人間らしい生き方とは？改めて考えさせられた分科会だった。明治以来、女性たちを縛ってきた家制度や家父長制は戦後の憲法改正で廃止され、24条には「個人の尊厳と両性の本質的平等」が明記された。しかし長い間社会の基盤を成してきたこれらの制度は、今もって意識下に深く残存して男女平等への改革を阻んでいる。男は仕事、女は家庭で子育て介護の図式に変化はない。夫婦別姓論議は10年も棚上げされている。「家族から始まる小さな民主主義」の輪を広げ、新たな社会基盤を作りたい。(齋藤三枝子)

## 編集後記

●天災人災いろいろなことがありすぎました。地球にも、人間社会にも警告が鳴らされているようです。そこから私は、人と人が支え合う力と人の痛みを分け合う心の大切さを学びました。(織田昭子)

●旧労働省が昭和23年から発表した婦人週間のポスターを観た。時代は移っても女性の地位向上と差別撤廃、自由と尊厳の理念と主張は一貫している。しかしその努力は実っているか、改めて思うた。(齋藤三枝子)

●ずっとやってきたかった編集作業。編集委員の皆さんとの打ち合わせは私にとって、とてもいい刺激となりました。皆さんとエガールを作れたことに心から感謝。どうもありがとうございます。(篠宮みさ)

●合併から5年目。フォーラムと共にエガールもこの町の歴史を刻んでいます。地域で心を開いた人間関係を作る場を、みんなで育んでいきたいと思います。(清水君枝)

●これまで、暮らしの中であまり差別を意識していませんでしたが、今回初めてエガールの編集に携わり、とても勉強になりました。みんなが幸せに暮らすために役立つエガールが作れたらうれしです。(水上ルース)

vol.11 2005年3月



企画・編集 エガール編集委員会  
発行 西東京市市民生活部生活文化課 男女平等推進係  
〒188-0011 東京都西東京市田無町4-15-11 西東京市民会館内  
電話:0424-50-0055 FAX:0424-50-0050  
編集委員/織田昭子・齋藤三枝子・篠宮みさ・清水君枝・松田比呂子・水上ルース  
デザイン・印刷/(株)アトミ

○ご意見、ご感想をお寄せください。